

冬春どりリーフレタスの作型と品種

(園試 南部分場)

1. 背景とねらい

本県のパイプハウスはここ数年急速に増加している。冬春期の利用については、シュンギク、サントウナ、ニラ、ホウレンソウ等の軟弱野菜類が主体であるが、品目数が限られており、その拡大が望まれている。

また、本県の冬春期の野菜消費をみると、気象要因の制約によりその多くを県外産に依存しているのが現状である。

そこで、品目拡大と地場消費を目的としたリーフレタスの冬春どり作型と品種について検討したので、その成果について参考に供する。

2. 技術の内容

1) リーフレタスの播種期と収穫期との関係はおおむね下表のとおりである。

項目 は種期	収穫期(最盛期)	期待収量($\text{kg}/10a$)
9月1日	11月下旬～12月上旬	1800～2000
9月10日	12月上旬～12月中旬	1800～2000
9月20日	12月下旬～1月上旬	1500～1800
9月30日	2月中旬～3月上旬	1500～1800

2) 適応品種はレッドファイヤーとする。

この品種は株の揃いが良く、収穫までの生育日数も他の品種と比べて短く、着色も良好である。

3) 適応地域

沿岸部、県南部

3. 指導上の留意事項

1) 定植苗は本葉3枚(露地育苗で1か月程度)とする。

2) 冬期間の栽培であるため、内部トンネルで保温をはかり25℃前後で換気する。
また、夜間はシルバーポリトウ等を併用し、最低気温が0℃以下にならないようにする。

3) 栽培様式はうね幅120cm、ベッド幅70cm、株間27cmの2条植とし、9227Bマルチを使用する。施肥量($\text{kg}/10a$)はN-12、P₂O₅-20、K₂O-12とする。

4) 灌水用パイプを設置し、土壌の乾燥状態をみて適宜灌水する。

5) 低温性病害の灰色かび病、菌核病が発生するので防除を徹底する。

6) は種期の組合せによる継続出荷が可能である。

7) 9月30日まきの作型では低温のため生育期間が長くなるとともに、収穫期の高温により赤色の発現が淡くなりやすいことから、保温および換気に十分注意する。

4. 当核事項にかかる試験研究課題名

冬春どりレタスの作型

5. 参考文献

昭和58、59、60年度 若手園試 南部分場成績書

6. 試験成績の概要

1). 作型試験

表-1 収穫時の調査

年 度	項 目 種 期	株のひろ	全 重	外葉数	調整重	最大葉 (cm)		腐敗株	収 量	収穫期間	収穫最盛期
		が/1 (cm)	(g)	(枚)	(g)	たて	よこ	(%)	(kg/10a)	(月・日)	(月・日)
昭和 57 年	9月1日	44.0	352.8	2.9	310.2	26.3	28.5	0	1,908	11.25~12.24	12.2
	9月10日	47.2	398.3	3.8	366.7	26.2	30.9	3.8	2,170	12.7~12.24	12.9
	9月20日	44.4	381.2	4.4	341.9	25.3	29.5	0	2,104	12.9~1.21	12.27
	9月30日	37.6	296.0	3.6	270.0	22.4	23.3	5.0	1,578	3.4~3.7	3.4
昭和 58 年	9月1日	40.8	307.0	2.4	299.0	24.4	30.5	6.7	1,566	12.5~12.27	12.15
	9月10日	39.9	262.0	3.6	250.0	23.7	31.1	3.6	1,328	12.19~1.27	12.27
	9月20日	34.2	325.0	5.9	295.0	20.7	21.6	7.8	1,515	3.13~3.22	3.13
	9月30日	34.0	359.0	6.4	323.0	21.1	22.4	2.5	1,831	3.22~4.4	3.22
昭和 59 年	9月1日	43.5	316.7	2.9	307.1	25.2	33.8	1.7	1,896	11.16~11.29	11.22
	9月10日	41.4	343.3	4.3	322.0	24.5	29.9	3.9	1,910	12.4~12.14	12.14
	9月20日	40.4	303.5	4.7	285.4	24.1	27.0	21.5	1,391	12.26~1.21	1.7
	9月30日	38.4	363.1	6.2	327.1	21.4	24.5	13.9	1,757	2.8~2.22	2.22

※昭和58年度は異常低温年

2). 品種比較試験

表-2 品種の特性

昭和59年

品 種	項 目	株の揃い	着 色	収 穫 期	備 考
レッド ファイヤー	良	濃	早	上級以上の割合が高い	
サ ニ ー	良	淡	着	どの品種でも色が淡い。葉が結球状に巻く。	
ニ ュ ー ス タ ー	普	濃 ~ 極濃	普	葉の側部の着色に劣る。	
レ ッ ド フ ラ ワ ー	普	やや淡 ~ 濃	普 ~ やや遅	わき葉が伸びる。葉が結球状に巻く。	
サ ン レ ッ ド	普	濃	普	腐敗株率が高い。	

表-3 収穫時の調査

昭和59年

日 期	品 種	項 目	株の広	全 重	外葉数	調整重	最大葉 (cm)		腐敗株	収 量	※ 着 色	収穫期間	収穫最盛期
			30/100	(g)	(枚)	(g)	たて	よこ	(%)	(kg/10a)		(月・日)	(月・日)
9月10日	レッドファイヤー	41.4	343.3	4.3	322.0	24.5	28.9	3.9	1,910	++	12.4 ~ 12.14	12.14	
	サニー	38.4	339.1	4.7	326.4	24.6	28.9	0	1,996	++	12.4 ~ 12.21	12.14	
	ニュースター	40.7	317.6	3.7	304.8	25.0	28.9	7.1	1,747	++~+++	12.4 ~ 12.21	12.14	
	レッドフラワー	37.4	323.7	4.7	303.9	22.6	28.9	7.4	1,737	++~++	12.4 ~ 12.21	12.14	
	サンレッド	41.7	348.9	4.6	328.8	25.3	32.3	14.3	1,740	++	12.4 ~ 12.21	12.14	
9月30日	レッドファイヤー	38.4	363.1	6.2	327.1	21.4	24.5	13.9	1,757	++	2.8 ~ 2.28	2.22	
	サニー	34.5	400.0	8.0	347.5	21.0	22.0	17.4	1,772	+	2.22 ~ 3.9	3.2	
	ニュースター	34.5	380.4	6.7	321.9	21.4	23.8	4.5	1,897	++	2.22 ~ 3.9	3.9	
	レッドフラワー	32.3	388.7	5.9	341.6	21.4	22.3	11.1	1,874	++	3.2 ~ 3.9	3.9	
	サンレッド	34.5	358.2	6.4	328.8	20.0	21.7	17.9	1,667	++	2.22 ~ 3.2	3.2	

※ + 淡 ++ やや淡 +++ 濃 ++++ 極濃

表-4 規格別収量割合 (個数%)

昭和59年

日 期	品 種	項 目	LL (%)	L (%)	M (%)	S (%)
		300g~	250~300g	200~250g	~200g	
9 月 10 日	レッドファイヤー		62.5	29.1	8.3	0
	サニー		60.7	32.1	7.2	0
	ニュースター		57.7	38.5	0	3.8
	レッドフラワー		64.0	24.0	8.0	4.0
	サンレッド		75.0	8.3	16.7	0
9 月 30 日	レッドファイヤー		76.6	17.0	6.4	0
	サニー		90.5	9.5	0	0
	ニュースター		66.7	19.0	9.5	4.8
	レッドフラワー		68.0	16.0	12.0	4.0
	サンレッド		69.6	17.4	8.7	4.3